飛鳥時代

名前

問1　仏教の伝来によって寺院建築が本格化した際、大規模な木材の需要が発生しました。近畿地方において巨木が枯渇し、森林の伐採規制が行われる要因の一つともなった、世界最古の木造建築を持つ寺院について述べた文として正しいものはどれか。（2024年 長野県公立入試 類似）

1. 聖徳太子によって建立され、飛鳥時代の文化を現代に伝えている。
2. 最澄が比叡山に開き、平安時代を通じて新しい仏教の拠点となった。
3. 聖武天皇の命により、仏教の力で国を守るために全国に建てられた。
4. 鎌倉時代、北条氏が中国から僧を招いて禅宗を広めるために建立した。

問2　法隆寺の金堂に安置されている釈迦三尊像に見られる、中央の釈迦如来と左右の脇侍を配置した形式や、中国の北魏様式の影響を受けた特徴を持つ文化の名称として最も適切なものを答えなさい。（2021年 大阪府公立入試 類似）

1. 天平文化
2. 白鳳文化
3. 弘仁・貞観文化
4. 飛鳥文化

問3　7世紀前半の聖徳太子（厩戸王）が政治を行っていた時代に栄えた、日本で最初の本格的な仏教文化を何といいますか。（2023年 埼玉県公立入試 類似）

1. 弘仁・貞観文化
2. 天平文化
3. 国風文化
4. 飛鳥文化

問4　飛鳥文化を象徴する建造物の歴史的意義について述べた文として、最も適切なものを次のうちから1つ選びなさい。（2021年 宮崎県公立入試 類似）

1. 藤原氏の権勢を示す貴族文化を象徴し、極楽浄土への往生を願う浄土信仰の広まりを反映している。
2. 平安京への移都に伴って創建され、山にこもって厳しい修行を行う新しい仏教の拠点となった。
3. 聖武天皇が国家の安泰を願って全国に建立を命じた寺院であり、シルクロードを経由した国際色豊かな文化を表している。
4. 日本で初めて仏教文化が花開いた時期を象徴し、世界最古の木造建築として当時の高度な建築技術を今に伝えている。

問5　聖徳太子が「十七条の憲法」を制定した目的やその内容についての説明として、最も適切なものはどれですか。（2020年 福島県公立入試 類似）

1. 唐の法律にならって、全国の土地と人民を国家が直接支配する公地公民の制を確立するため
2. 武士同士の領地争いを裁くための公平な基準を定め、鎌倉幕府の支配を安定させるため
3. 豪族たちに役人としての自覚を持たせ、争いを避けて天皇の命令に従う体制を整えるため
4. キリスト教の布教を制限し、有力な大名による貿易の独占を禁止して幕府の権威を高めるため

問6　飛鳥文化を代表する法隆寺の釈迦三尊像などの仏像が、この時期に数多く制作された背景について述べた文として、正しいものはどれですか。（2016年 和歌山県公立入試 類似）

1. 聖徳太子や蘇我氏が仏教を厚く保護し、大陸の進んだ文化を取り入れることで、仏教の教えに基づいた国づくりを目指したため。
2. 遣唐使によってもたらされた最新の密教を広めるため、貴族たちが山岳地帯の寺院に厳しい修行を行うための本尊を安置したため。
3. 聖武天皇が国ごとに国分寺・国分尼寺を建立し、仏教の力で社会の不安や疫病を静めようとする鎮護国家の政策を進めたため。
4. 戦乱や飢饉によって末法思想が広まり、死後の極楽浄土を願う貴族たちが、阿弥陀如来像を競って造立するようになったため。

問7　7世紀から8世紀にかけて、日本が天皇を中心とした法に基づく国家体制（律令国家）を整備していった過程について、出来事を時系列に沿って正しく並べたものはどれですか。（2019年 和歌山県公立入試 類似）

1. 藤原京への遷都 → 十七条の憲法の制定 → 公地公民の方針の提示 → 近江大津宮への遷都
2. 公地公民の方針の提示 → 十七条の憲法の制定 → 藤原京への遷都 → 近江大津宮への遷都
3. 十七条の憲法の制定 → 近江大津宮への遷都 → 藤原京への遷都 → 公地公民の方針の提示
4. 十七条の憲法の制定 → 公地公民の方針の提示 → 近江大津宮への遷都 → 藤原京への遷都

問8　7世紀の日本の出来事をまとめた年表において、天智天皇の死後に起きた大規模な内乱である「壬申の乱」の当事者となった人物の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2025年 愛知県公立入試 類似）

1. 平清盛と源義朝
2. 大海人皇子と大友皇子
3. 中大兄皇子と蘇我入鹿
4. 足利尊氏と後醍醐天皇

問9　7世紀、日本は友好関係にあった百済が滅亡した際、その復興を支援するために朝鮮半島へ大軍を送りました。このとき、日本軍が白村江で戦い、大敗を喫した相手である二つの国の連合軍として正しいものを次の中から選びなさい。（2023年 福井県公立入試 類似）

1. 唐と新羅
2. 元と高麗
3. 隋と新羅
4. 唐と高句麗

問10　聖徳太子が定めた十七条の憲法の目的や内容について、当時の時代背景を踏まえて説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2023年 岐阜県公立入試 類似）

1. 身分に関わらず才能のある人物を役人に登用するため、位階によって帽子の色を分ける制度を整えた。
2. 武士の間で起こる領地争いを公平に裁くため、日本で初めての武家独自の裁判基準を示した。
3. 唐の律令制度をそのまま導入し、土地や人民を国家が直接支配する公地公民の原則を確立した。
4. 仏教や儒教の教えを役人の道徳的規範とすることで、天皇を中心とした国家体制の確立を目指した。

問11　天智天皇が白村江の戦いでの敗北後に進めた、国家体制を整えるための改革において、670年に作成された日本初の全国的な戸籍の名称として正しいものを選びなさい。（2026年 埼玉県公立入試 類似）

1. 庚午年籍
2. 庚寅年籍
3. 班田収授法
4. 大宝律令

問12　7世紀半ば、朝鮮半島の南西部に位置し、日本（倭）と親密な関係にあったものの、唐と新羅の連合軍によって滅ぼされた国はどこか。日本はその復興を支援するために、663年に朝鮮半島へ大軍を送ったが、白村江の戦いで大敗を喫することとなった。（2018年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 高句麗
2. 新羅
3. 百済
4. 任那

問13　663年に朝鮮半島で起こった白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に敗れた後、大和政権は九州の防衛を強化しました。このとき、博多湾から太宰府へ侵攻してくる敵を防ぐために築かれた、全長約1.2kmに及ぶ大規模な土塁と堀で構成された防衛施設を何といいますか。（2018年 福島県公立入試 類似）

1. 烽火
2. 防人
3. 水城
4. 山城

問14　当時の有力な豪族の家系図において、蘇我稲目の子であり、推古天皇や聖徳太子とも深い血縁関係を持つ人物が行った政治的行動として、最も適切なものはどれですか。（2020年 熊本県公立入試 類似）

1. 遣隋使の派遣を停止し、日本独自の国風文化を育てることに専念した。
2. 武士団を組織して平氏を打倒し、征夷大将軍となって幕府を開いた。
3. 仏教の採用に反対する勢力を退け、大陸の新しい文化や制度を取り入れて国家の近代化を図った。
4. 検地や刀狩を行い、兵農分離を進めることで社会の安定を目指した。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 聖徳太子によって建立され、飛鳥時代の文化を現代に伝えている。	飛鳥時代に建立された法隆寺は、現存する世界最古の木造建築物です。仏教伝来によりそれまでの縦穴住居などとは異なる巨大な木造建築（寺院）が造られるようになり、建築用木材として多くの巨木が切り出されました。その結果、周辺地域での森林資源の枯渇を招き、後の時代における資源管理の重要性が認識されるきっかけにもなりました。
問2	答え 4 飛鳥文化	釈迦三尊像は鞍作鳥（止利仏師）によって作られたとされる、飛鳥文化を代表する金銅像です。この時代の彫刻は、大陸との交流を背景に中国の北魏などの様式を取り入れており、アーモンド形の目や「アルカイック・スマイル」と呼ばれるかすかな微笑みが特徴です。これは日本で最初に開花した本格的な仏教文化の特色を示しています。
問3	答え 4 飛鳥文化	この時期の文化は、法隆寺の建築や広隆寺の弥勒菩薩像などに代表される日本初の仏教文化です。中国の南北朝時代の文化の影響を強く受けているのが特徴で、渡来人によって伝えられた技術が寺院の建設や仏像の制作に活かされました。
問4	答え 4 日本で初めて仏教文化が花開いた時期を象徴し、世界最古の木造建築として当時の高度な建築技術を今に伝えている。	飛鳥時代には、聖徳太子らの手によって日本で最初の仏教文化（飛鳥文化）が栄えました。この時期に建立された法隆寺などの寺院は、現存する世界最古の木造建築物群として、大陸から伝わった高度な建築技術や仏教芸術の発展を現代に伝える重要な意義を持っています。
問5	答え 3 豪族たちに役人としての自覚を持たせ、争いを避けて天皇の命令に従う体制を整えるため	当時の政治は有力な豪族たちの連合体のような性格が強く、しばしば対立が起きていました。聖徳太子は、仏教や儒教の思想を背景に「和」の精神や「天皇の命令への服従」を説くことで、豪族を天皇に仕える「役人」へと変貌させ、中央集権的な国家をつくる基盤を固めようとしました。
問6	答え 1 聖徳太子や蘇我氏が仏教を厚く保護し、大陸の進んだ文化を取り入れることで、仏教の教えに基づいた国づくりを目指したため。	飛鳥時代、推古天皇の摂政であった聖徳太子や有力貴族の蘇我氏は、外来の宗教である仏教を積極的に受容しました。彼らは寺院（氏寺）を建立し、優れた仏像を安置させることで、大陸の高度な技術や思想を背景とした統治を行おうとしました。聖武天皇の政策は「天平文化」、密教の普及は「平安時代初期」、末法思想や阿弥陀如来像の流行は「平安時代後期（国風文化）」の出来事です。
問7	答え 4 十七条の憲法の制定 → 公地公民の方針の提示 → 近江大津宮への遷都 → 藤原京への遷都	聖徳太子が役人の心得を示した十七条の憲法（604年）を制定した後、中大兄皇子らによる大化の改新（646年）で公地公民の原則が示されました。その後、天智天皇としての近江大津宮への遷都（667年）を経て、694年に持統天皇によって中国の都にならった本格的な都城である藤原京へと移りました。藤原京が大津宮よりも後の時期である点に注意が必要です。
問8	答え 2 大海人皇子と大友皇子	壬申の乱（672年）は、天智天皇の後継者の座を争い、天皇の弟（大海人皇子）と息子（大友皇子）が戦った古代最大の内乱です。中大兄皇子と蘇我入鹿の対立は、この乱より前の645年（乙巳の変）の出来事です。また、平清盛や源義朝は12世紀の平安時代末期、足利尊氏や後醍醐天皇は14世紀の南北朝時代に近い時期の人物であり、7世紀の出来事である壬申の乱とは時代が大きく異なります。
問9	答え 1 唐と新羅	663年、日本（倭）は百済を再興させるために軍を派遣しましたが、中国大陸を統一した唐と、朝鮮半島東部の新羅による連合軍に敗北しました。この結果、日本は朝鮮半島への影響力を失い、国内では唐などの侵攻に備えて大宰府に水城を築くなど、国防体制を急いで整えることとなりました。
問10	答え 4 仏教や儒教の教えを役人の道徳的規範とすることで、天皇を中心とした国家体制の確立を目指した。	十七条の憲法は、法的な罰則よりも役人が守るべき精神的な規範に重点が置かれています。「和を以て貴しとなす」という言葉に代表されるように、豪族同士の争いを戒め、仏教や儒教の教えを通じて天皇への忠誠を促すことで、中央集権的な国家を築こうとする意図がありました。
問11	答え 1 庚午年籍	天智天皇は、唐や新羅の連合軍が百済を滅ぼし、その後の白村江の戦いで日本軍を破ったことを受け、日本国内の統治を急ぎ強化しました。その具体的な施策として作成されたのが「庚午年籍」です。これにより、それまで氏姓制度によって豪族が支配していた人民を、国家が直接把握する仕組みが作られ始めました。選択肢にある「庚寅年籍」は持統天皇の時代に作成されたものであり、区別が必要です。
問12	答え 3 百済	7世紀の朝鮮半島では、唐と結んだ新羅が勢力を拡大していました。660年に百済が滅亡すると、日本（倭）は友好関係にあった百済の遺臣から救援を求められ、復興を支援するために大軍を派遣しました。しかし、663年の白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に敗北したことで、百済復興の道は閉ざされました。
問13	答え 3 水城	白村江の戦いで敗北した大和政権は、唐や新羅による日本本土への侵攻を強く警戒しました。特に九州の政治・外交の拠点であった太宰府を守るため、その北側に巨大な堤防のような土塁を築き、さらに外側に水を蓄えた堀を設けることで、博多湾方面からの敵の進入を阻止しようとしました。この施設は「水城」と呼ばれ、現在の福岡県にその遺構が残っています。
問14	答え 3 仏教の採用に反対する勢力を退け、大陸の新しい文化や制度を取り入れて国家の近代化を図った。	蘇我馬子は蘇我稲目の息子であり、自らの娘を天皇に嫁がせるなどして天皇家の外戚として強い権力を握りました。彼は仏教を積極的に受け入れることで、大陸の高度な技術を持つ渡来人と結びつき、古い慣習に縛られない新しい国家体制を目指しました。この過程で仏教反対派の物部氏と激しく対立しました。